

# 住環境再考

## —スマートから健康まで

「住総研住まい読本7」出版記念

会場：**建築会館ホール**（東京都港区芝5-26-20）

参加費：一般 1,000円／学生 500円（ただし、本をご持参の方、及び当日会場にてご購入の方は無料）

参加費はすべて東日本大震災・熊本地震復興義捐金として被災地にお送りいたします。  
当日は1800円（税込み）で本を販売いたします。そのうち400円を義捐金といたします。

定員：150名

後援：一般社団法人 日本建築学会、公益社団法人 空気調和・衛生工学会

第45回 2016年 **7月28日**（木）13:30～17:00

主旨説明

田辺新一（早稲田大学創造理工学部 教授）

話題提供

・ゼロ・エネルギーハウス

田辺新一（前掲）

・健康は住まいに宿る

星 旦二（首都大学東京 名誉教授）

・パッシブデザインの再評価

甲斐徹郎（株式会社チームネット 代表取締役）

総合討論 コーディネーター

清家 剛（東京大学大学院 准教授）

第46回 2016年 **9月8日**（木）13:30～17:00

主旨説明

田辺新一（早稲田大学創造理工学部 教授）

話題提供

・住まいを建ててから壊すまで

清家 剛（東京大学大学院 准教授）

・これからのスマートハウス

岩船由美子（東京大学生産技術研究所 特任教授）

・リノベーションで環境価値再考

山本恵久（日経 BP 社建設局 プロデューサー）

総合討論 コーディネーター

田辺新一（前掲）

### 新時代の住宅に求められるものは何か

個々の住まいから地域、そして地球規模に広がりを見せる住環境への対応には、家電などの個々の設備や技術単体から住まいとの融合、さらには地域、そして地球の温暖化対策へと連続した、横断的かつ総合的な対策が求められている。従来の環境工学の枠を超え、「スマートから健康まで」すなわち医学、建築生産、パッシブデザインの視点からも住環境を再考する2回の連続シンポジウムである。



発行：萌文社  
定価：1800円＋税

主催 一般財団法人住総研

## 田辺 新一

早稲田大学創造理工学部建築学科 教授

1958年福岡県生まれ。専門は建築環境学。快適性と省エネルギーのバランスに興味を持つ。1980年早稲田大学理工学部建築学科卒業。1984年同大学大学院博士課程修了。1984～86年デンマーク工科大学暖房空調研究所。1992～93年カリフォルニア大学パークレー校環境計画研究所。1992～99年お茶の水女子大学生活科学部助教授。1997年ローレンスパークレー国立研究所訪問研究員。1999年早稲田大学理工学部建築学科助教授。2001年から現在同大学教授。2002～2003年デンマーク工科大学客員教授。米国暖房冷凍空調学会フェロー。主な著書に『室内化学汚染・シックハウスの常識と対策』（1998、講談社）他

## 清家 剛

東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻 准教授

1964年東京都生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。東京大学工学部建築学科助手を経て、1999年より現職。日本建築学会「JASS17ガラス工事改定委員会」主査など、外装に関連する委員、CASBEE すまい小委員会主査など環境に関する委員を数多く務める。主な著書に『ファサードをつくる』（彰国社、2005）、『サステナブルハウジング』（東洋経済新報社、2003）、『東京の環境を考える』（朝倉書店、2002）、『図解事典 建築のしくみ』（彰国社、2001）など。

## 岩船 由美子

東京大学生産技術研究所エネルギー工学連携研究センター 特任教授

1968年秋田生まれ。2001年東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。(株)三菱総合研究所(1993-1998)、(株)住環境計画研究所(2001-2008)勤務を経て、2008年より生産技術研究所エネルギー工学連携研究センター勤務。2015年4月より現職。経済産業省総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会委員等。主な著書に『エネルギーの事典』社団法人日本エネルギー学会編(朝倉書店、2010)、『環境経済・政策学の基礎知識』環境経済・政策学会編(有斐閣、2006)、『暮らしの中のエネルギー・環境にやさしい選択』電気学会(オーム社、2001)など。

## 星 且二

首都大学東京 名誉教授 / 放送大学客員教授

1950年福島県生まれ。1978年福島県立医科大学卒業後、1987年東京大学で医学博士を取得。東京都衛生局、厚生省国立公衆衛生院、1998年厚生省大臣官房医系技官併任、1997年英国ロンドン大学大学院留学を経て、現在に至る。公衆衛生のエキスパートとして「健康長寿」に関する研究を続けている。東京都健康づくり都民会議企画調査部委員(委員長代行1997-1999)、目黒区保健福祉計画策定委員(1998)、厚生省健康日本21計画策定委員会委員(1998-2000)、栃木県岩舟町第二期いきいき岩舟推進プラン策定事業推進委員(1999)、第四次多摩市総合計画審議会委員長(1999)他。主な著書に『なぜ、「かかりつけ歯科医」のいる人は長寿なのか?』(ワニブックス PLUS 新書、2012)、『ピンピンコロリの法則—おでかけ好きは長寿の秘訣』(ワニブックス PLUS 新書、2010)など。

## 甲斐 徹郎

株式会社チームネット 代表取締役

1959年東京都生まれ。千葉大学文学部行動科学科(社会学専攻)卒業。1995年株式会社チームネットを設立。マーケティング発想による「つながり」理論をもとに環境共生プロジェクトを手がける。関東学院大学客員教授、東京都市大学都市生活学部、多摩美術大学環境デザイン学科、都留文科大学文学部社会学科、立教セカンドステージ大学非常勤講師。東京都再生可能エネルギー戦略策定委員会委員(2006)、公益信託世田谷まちづくりファンド運営委員(2005～2010)、「ゆとりある豊かな住生活を実現する国民推進会議」副会長(2008～)。

主な著書に、『森をつくる住まいづくり』(世田谷区都市整備公社、2000)、『まちに森をつくって住む』(農文協、2004)、『自分のためのエコロジー』(筑摩書房、2006)、『まちへ』(共著/日刊建設通信新聞社、2006)など。

## 山本 恵久

日経 BP 社 建設局 プロデューサー / 日経アーキテクチュア 編集委員

1961年東京都生まれ。1984年横浜国立大学工学部建設学科(建築学コース)卒業。1986年横浜国立大学大学院工学研究科(建築学専攻)修了。日経 BP 社(当時・日経マグロービル社)入社。『日経ストアデザイン』(商空間)、『日経 CG』(CG、CAD)、『日経エコロジー』(環境経営)等の専門誌の副編集長、『日経アーキテクチュア』(建築)の編集長を経て現職。建築・住宅・インテリア以外に、まちづくりや防災、エリアマネジメント、ファシリティマネジメント分野などの取材を手掛け、書籍『まちづくり:デッドライン』(木下斉・広瀬都=著)、同『ぼくらのリノベーションまちづくり』(嶋田洋平=著)などの編集も担当。

### ■申込方法

ホームページの申し込みフォームまたは FAX でお申し込みください。  
住総研 HP (<http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html>)

### ■お問い合わせ

一般財団法人住総研 e-mail:sympo@jusoken.or.jp  
〒156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8  
TEL:03-3484-5381/FAX:03-3484-5794

このシンポジウムは継続職能研修(建築士会 CPD)認定プログラム(各回3単位)です。

### ■会場：建築会館ホール



JR 田町駅  
三田口徒歩 3分  
都営地下鉄三田線  
A3 出口徒歩 3分

### 参加申込み

第45回(7月28日)  第46回(9月8日) (参加を希望される日程に☑を記入してください)

ふりがな  
お名前

ご所属 (一般 学生)

ご連絡先 (ご所属 ご自宅)

(〒 - )

e-mail アドレス

TEL

FAX

住総研 FAX : 03-3484-5794